

皆さま、こんにちは。順調に治療は進んでいるでしょうか？
何か困ったことがあればいつでもご相談ください。



先月号は「带状疱疹」の痛みについてお話ししました。
今月は、その治療法についてご説明します。

「带状疱疹」はもともと自分が持っていたウイルスが発症する病気です。一緒に住んでいてもご家族には移りません。

初期は、傷口も痛々しく、水疱がつぶれると中の汁が出てきて服についたりしますね。皮膚科でいただいたウイルス専用の軟膏を塗って、きれいなガーゼで保護しましょう。ばい菌が入らないようにしてください。お風呂は入らないほうがいいですね。シャワーにしておきましょう。

水疱は次第に枯れてきて、かさぶたが取れていきます。

1か月もすると、すっかりきれいになり、いかにも治った感じになります。しかし、問題は痛みです。皮膚がきれいになったのに、いつまでも痛みが続きます。皮膚科の先生に訴えると、皮膚科はもう終わりでもいいからペインクリニックに行くよう言われたりします。それってどういうこと？



带状疱疹のウイルスは神経が大好きです。もともと最初は皮膚に感染したのではなく、身体の奥の神経に感染したのです。神経に沿って増殖しているうちに、菌が皮膚にあふれてきて水疱になりました。皮膚と違って、神経は治りが遅く、皮膚の下では、まだ傷ついた神経がそのままになっているのです。3か月を超えると、その傷も古傷になり、運が悪いと一生残ります。

最も大事なことは、発症したらなるべく早くペインクリニックで神経の治療を始めることです。1か月を過ぎて来院される方が多いですが、発症と同時に来られる方がよく治ります。早期になるべく多くブロック治療をすることが難治性の痛みにならないコツです。

神経ブロック治療は血流をよくする治療です。傷んだ神経の血流をよくして、回復を促します。しかし、時間が経つと、神経が回復できなくなります。

主にする方法は硬膜外ブロックです。胸にできた場合は、胸部硬膜外ブロック、腰から下にできた場合は、腰部硬膜外ブロックを行います。首や顔、頭にできた場合は、星状神経節ブロックを用います。いずれのブロックも、すでに千里ペインクリニック新聞で勉強しましたね。思い出してください。ヘルニアや狭窄症の治療をする方法と同じです。

次回もう少し詳しく治療についてご説明したいと思います。